

# お客様に高度な 情報セキュリティで 安心を提供



## 情報技術の進化に即した 情報セキュリティを提供

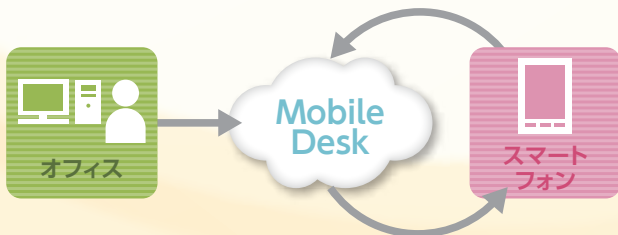
情報技術(IT)は企業の事業活動において不可欠な存在となっています。その一方で、ITの進展やインターネットの利用拡大に伴い、コンピュータウイルスやサイバー攻撃など、次々と新しい脅威が生まれています。OKIグループは、情報社会を担う企業として、情報セキュリティの重要性を早くから認識し、お客様一人ひとりに安心をお届けするために情報セキュリティ商品・サービスを提供してきました。

たとえばスマートフォンやクラウド・コンピューティング、ソーシャルメディアの出現と普及は企業活動をまた大きく変えようとしています。複雑化する管理の手間や、情報漏えいなどのセキュリティ上の懸念から、導入を不安視している企業も多くあります。

こうした状況を踏まえ、OKIは、社内情報を安全・簡単に閲覧できるスマートフォン向けクラウドサービス「EXaaS Mobile Deskサービス」の提供を2012年1月から開始しました。同サービスでは、利用者がクラウドサーバ上に格納した情報を、外出先でもスマートフォンなどを使用して、今日必要な情報を優先的に素早く閲覧できるほか、既存の業務システムを変更することなくスマートフォンを業務端末として利用できるアプリケーションを、容易に開発・導入することが可能です。セキュリティリスクの低減のため、利用した情報を端末に残さないことはもちろん、認証・暗号化により安全な通信を行う「VPN※接続機能」と、不正利用の防止や紛失時の保護などを行う「端末管理機能」の両側面での情報セキュリティを基本機能として備えています。

※ VPN：インターネットなどの公衆回線に構築する仮想的なネットワーク。

### ● EXaaS Mobile Deskサービスのイメージ



## OKIグループの 情報セキュリティの取り組み

OKIグループは情報セキュリティサービスの提供と同時に、自らの情報セキュリティレベルを高めるさまざまな取り組みも実施しています。

情報セキュリティ基本方針(2002年制定)のもと、下図に示す3つの仕組みでセキュリティ対策を推進しているほか、2007年度に設置した情報セキュリティ委員会のもと、部門ごとに活動計画を策定して施策を展開し、その実施状況を委員会事務局が継続的に現地実査を行って確認しています。またISMS※の認証も取得しています(p21参照)。

2011年度は、近年のサイバー攻撃の高度化・巧妙化を受け、従来実施していたセキュリティパッチ適用やウイルス対策ソフトの利用に加え、情報流出を防止する仕組みとして、ウイルスに感染したPCやサーバーからの情報流出経路をブロックする出口対策の強化を行いました。また、情報漏えい事故は電子メールなどの誤操作がその原因の20%を占めるという外部の調査結果を受けて、誤送信対策ツールを導入しました。

さらに、情報セキュリティの動向を踏まえた教育を継続的に実施しています。2011年度は毎年10月に派遣社員を含めた全従業員を対象に実施している「情報セキュリティ一斉点検」の点検項目を見直し、お客様からお預かりした情報やトレードシークレットなどの保護についても注意を喚起して、情報管理全般に関する意識向上を図りました。今後も情報化社会を担う企業に相応しい情報セキュリティ体制を構築していきます。

※ ISMS：Information Security Management System

### ● 情報セキュリティ「3つの仕組み」

